

紫外線による皮膚疾患治療

UVA1療法 の ご紹介



『UVA1 療法』とは何ですか？

深い病変部に治療効果が期待できます。

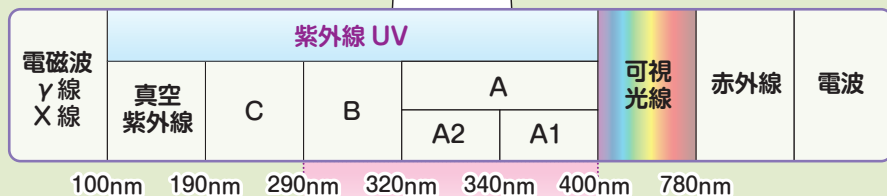
- ヨーロッパでは 1990 年代から一般的に採用されている、実績のある紫外線療法です。
- 紫外線の中で最も可視光線(目に見える光)に近い、UVA1 という光を使った治療法です。
- 現在、国内で一般的に普及している紫外線療法は、UVB という光が採用されていますが、UVA1 は UVB と比べて、以下の特徴が挙げられます。

深達性

皮膚の
深いところ
まで光が届く

安全性

皮膚が赤く
なりにくい
波長の紫外線



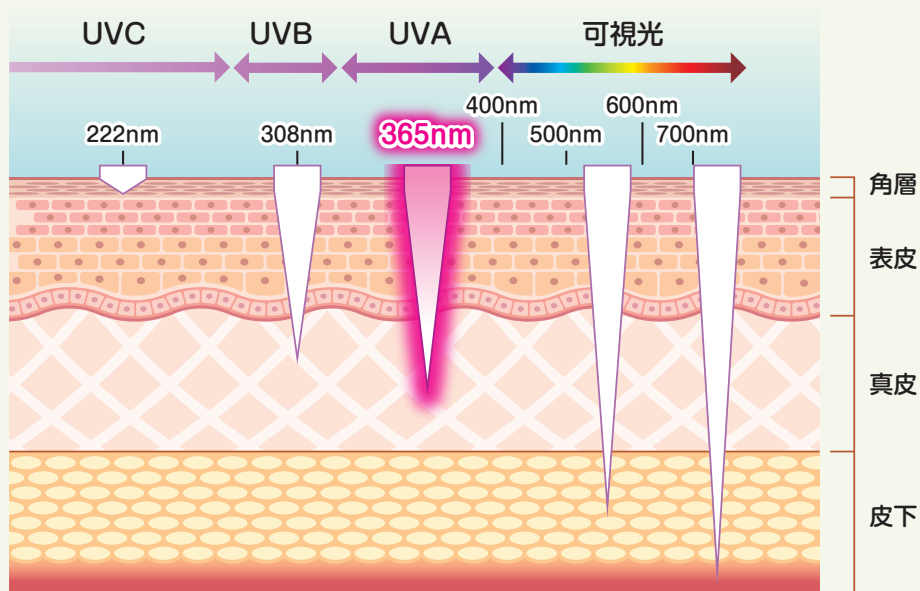
UVB

UVA2

UVA1

光の皮膚深達性

光



光は、
波長が長いほど
深層まで深達します。



どんな**病気**が**治療**できますか？

これまでの治療法では難しかった病気に治療効果が期待できます。

疾患名

アトピー性皮膚炎

異汗性湿疹

掌蹠膿疱症

菌状息肉症

(皮膚T細胞リンパ腫)

色素性蕁麻疹

限局性強皮症

全身性強皮症

結節性痒疹

これらの疾患に有効と
報告されています。



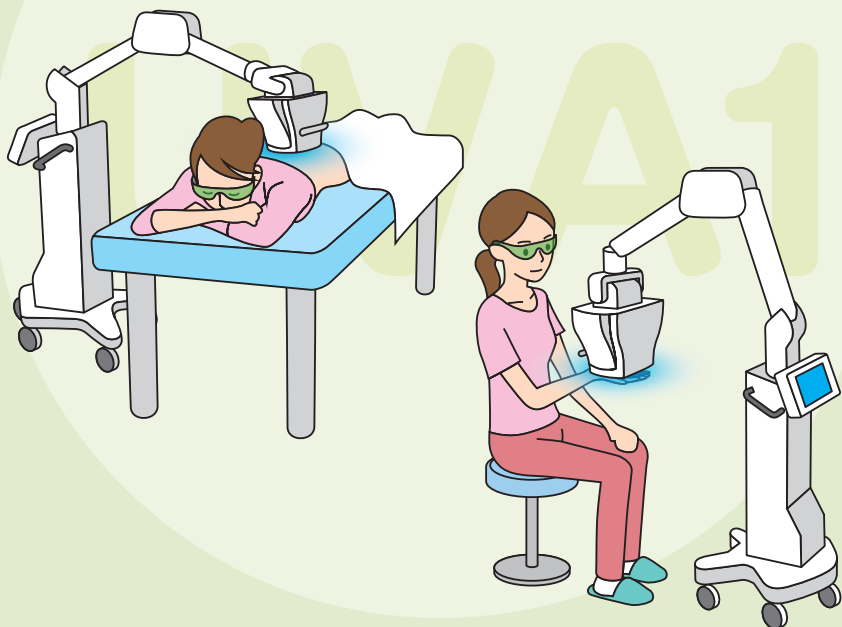
どのように**治療**しますか？

治療器を直接患部に当てて、光を照射します。

患部 1 か所につき約 5 分～ 10 分照射致します。

標準的には週に 1 回以上の通院をお勧めしています。
(疾患によって異なります)

外用療法とも組み合わせます。



副作用はありますか？

体質によって下記症状を生じる場合があります。

即時黒化 (そくじこっか)

皮膚の中にあるメラニン色素が反応して、照射直後に光が当たった部分だけ、皮膚の色が濃くなります。1時間～1日程度で徐々に消えますが、皮膚のタイプによっては長期化する場合があります。

熱感

治療中に、皮膚表面が紫外線を吸収して熱く感じる場合があります。照射後も熱感が残る場合があります。この場合は、照射中に患部へ扇風機などで風を送ったり、照射後に冷やします。



紅斑 (こうはん) や、皮膚の乾燥

紫外線によって皮膚が炎症を起こし、赤くなり、ヒリヒリしたり、乾燥したりします。また、乾燥の影響でかゆみを生じる場合があります。その場合は、皮膚科医の指示に従ってください。

自己負担は、 いくらがかかりますか？

病気の種類によって変わりますが、
3割負担の場合、
処置代が1回150円～500円くらいです。

注1) 3割負担の処置代のみを前提としています。
また、その他に診察料、投薬料、管理料などが別途かかります

健康保険が
ご利用になれます。



本ガイドブックを
PDFでご覧いただけます。



UVA1

監修

名古屋市立大学大学院医学研究科
加齢・環境皮膚科学

森田 明理

発行

ウシオ電機株式会社